

# きんもくせい

病院だより

vol.129

令和6年  
3月号



10周年、そして未来へ

## 災害時には命を守るための拠点となります ～能登半島地震への災害派遣から学ぶ多くのこと～



▲患者搬送のため穴水町へ雪道を進む当院DMAT

令和6年元日に発生した能登半島地震。多くの方が地震による家屋の倒壊や火災、そして津波により被災されました。

当院は、静岡県の要請を受け、地震発生翌日の1月2日からDMAT(災害派遣医療チーム)を派遣しており、1月末時点で、3隊派遣しています。また、静岡県看護協会からの要請を受け、災害支援ナースとして看護師を2名派遣しました。2月には、J-RAT(日本災害リハビリテーション支援協会)からの要請で、当院リハビリテーション科医師とリハビリスタッフを派遣し、JAMT(日本臨床衛生検査技師会)からの要請を受け、臨床検査技師が支援に向かいました。

1月18日には当院で、災害派遣から戻ったDMATの活動報告会を実施し、当院職員だけでなく、掛川市、袋井市、医

師会等の関係者が参加し、現地の様子やどのような支援が必要なのか、また中東遠地域で大きな地震が発生した時のために、我々がどのような対策をしておく必要があるか、情報を共有しました。

当院は災害拠点病院として、災害時には命を守るための拠点となります。今回の能登半島地震で被害に遭われた方を、静岡県から最大限支援していくとともに、いつ起きてもおかしくないと言われている南海トラフ地震等の災害に備え、様々な対策や準備をしております。

今回の震災で奪われた命や、多くの方々の悲しみや苦しみを決して無駄にしないことを誓います。

シリーズ

がんと共に生きる 住み慣れたこの場所で④

がんゲノムについて

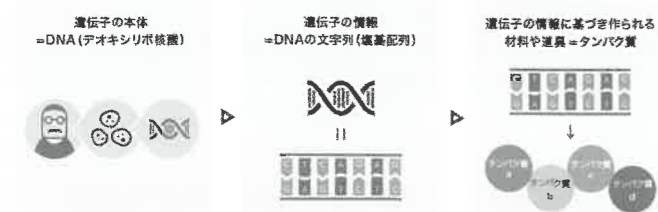
病理診断科 医長 <sup>すずき だいすけ</sup> 鈴木 大介

●**がんは遺伝子の異常から起こる！  
がんゲノム医療とは？**

この度病理医として3回目の寄稿をさせていただくことになりました、病理診断科の鈴木大介と申します。現在原稿を執筆しているのは1月下旬ですが、個人的には1月18日（木）よりスタートした医療ドラマ「グレイトギフト」に期待をしています。何と言ってもあの反町隆史さんが病理医の役として主演しているとなれば、チェックせざるを得ません。ドラマ自体がどのような結果になるうとも、病理医の知名度向上になっていただければ有り難いと一病理医の私は考えています。皆さま、影は薄いですが今後とも病理医をよろしく願い申し上げます。

さて本題に戻りますが、がんゲノムとは「がん」と「ゲノム」を併せた言葉です。「がん」自体は死因第1位である「悪性腫瘍」と同じ意味であり、放置すればいずれ人体を死に至らしめる危険度の高い疾患です。また「ゲノム (genome)」とは、生命の設計図である「遺伝子 (gene)」と、遺伝子の具体的な内容を示すDNA (デオキシリボ核酸) の集合などにより構成される「染色体 (chromosome)」から創られた言葉です。DNAは4種類の塩基 (A/G/C/T) という構造物を含み、それらの様々な組み合わせから身体の元になるタンパク質が生み出されるため、非常に重要な存在です。(図1) ゲノムは塩基が作る配列の全体、即ち遺伝情報全体を指しています。端的に言えば、がんゲノムとは、がんの成り立ちや、正体に迫るがんの遺伝情報そのものです。そしてがんゲノム医療とは、がんゲノム解析によりわかる情報を応用して医療に利用したものです。なぜがんゲノム医療が台頭してきているかと言えば、がんは遺伝子の異常から起こる疾患であり、かつ遺伝子解析のスピードが昨今では格段に向上し、創薬 (※1) にも結びついていることなどがあられると思われま

※1 創薬：病気の診断・治療・予防などに利用できる物質を新たに発見・開発し、新しい医薬品を作り出す過程のこと。



▲ 図1 中外製薬株式会社「おしえて がんゲノム医療」  
<https://gan-genome.jp/> から

●**数百のがん遺伝子を一度に調べる？！  
がん遺伝子パネル検査とは？**

前回寄稿させていただいた令和4年2月号のきんもくせいでも、がんには遺伝子異常があり、現在も少数ですが特定の遺伝子異常に対して効果を示す「分子標的薬」が、がん治療の選択肢となっていることはご紹介させていただきました。代表的なものは肺癌における「EGFR阻害薬」、乳癌や胃癌における「HER2阻害薬」などです。それらの適応を調べるのが、病理検査室の役割であり、「コンパニオン診断」と呼ばれています。

近年、多量の遺伝子解析が可能である「次世代シーケンサー (※2)」の登場から、多数のがん遺伝子解析を一度に行える「がん遺伝子パネル検査」が2019年6月より保険適応となっています。(図2)「がん遺伝子パネル検査」は複数の「コンパニオン診断」を同時に行うこともでき、がんゲノム医療のひとつとして大きな注目を浴びています。現在保険適用されているがん遺伝子パネル検査では、一度に最大で約300個の遺伝子解析などが可能です。最もよい検査の適応 (検査が推奨される方) は、初診時に既に様々な臓器に転移を来しており元々がんの発生した臓器が不明 (いわゆる原発不明がん) の方や、がん自体が非常に珍しい種類 (いわゆる希少がん) で標準的な治療 (標準治療) が確立していない方です。また、標準治療が確立されているがんでも、標準治療が効かなくなり有効な手立てがなくなった場合、あるいは、将来的にそのような状況が予想される場合にも、がん遺伝子パネル検査は考慮されます。これにより、治療を断念せざるを得なかった患者さんに新たな治療薬が見つかるケースが出てきています。

※2 次世代シーケンサー：高速で大量の塩基配列を解読可能な装置のこと。

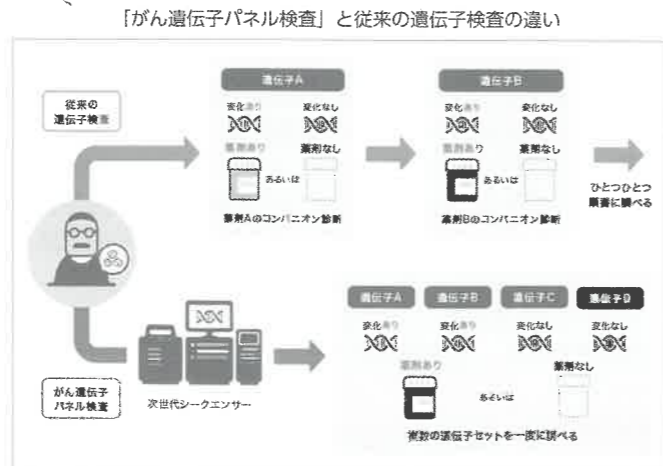


図2 中外製薬株式会社「おしえて がんゲノム医療」  
<https://gan-genome.jp/> から

夢のような検査に聞こえますが、同時に問題点も複数抱えています。まず、結果が出るまでに時間が掛かることです。一般的にがん遺伝子パネル検査へ検体を提出後、患者さんの元へ結果が届くのは約4-6週間とされています。がん遺伝子パネル検査では多数の情報を扱うため、がん医療の専門家同士が集まって協議する「エキスパートパネル」という会議など必要な過程もあり、結論が出るのに時間を要してしまいます。そのため、がん遺伝子パネル検査を施行された患者さんの中で、数%の方が検討中に亡くなってしまいうというケースがあります。そのため、どのタイミングでこの検査を行うかが重要となってきます。さらに遺伝子解析のスピードに創薬が追いついていない現状もあり、がん遺伝子パネル検査を行っても、現時点で適切な薬が届くのは約1割とされています。しかし、がん遺伝子パネル検査の施行回数が増えれば、解析・創薬も進み、患者さんに結果を届けるまでの手順も洗練されてくると思われます。がん遺伝子パネル検査はがん治療の突破口になり得るので、今後の発展に大きな期待が掛かります。

がん遺伝子パネル検査は、検査できる病院に限られています。近隣では、磐田市立総合病院や藤枝市立総合病院

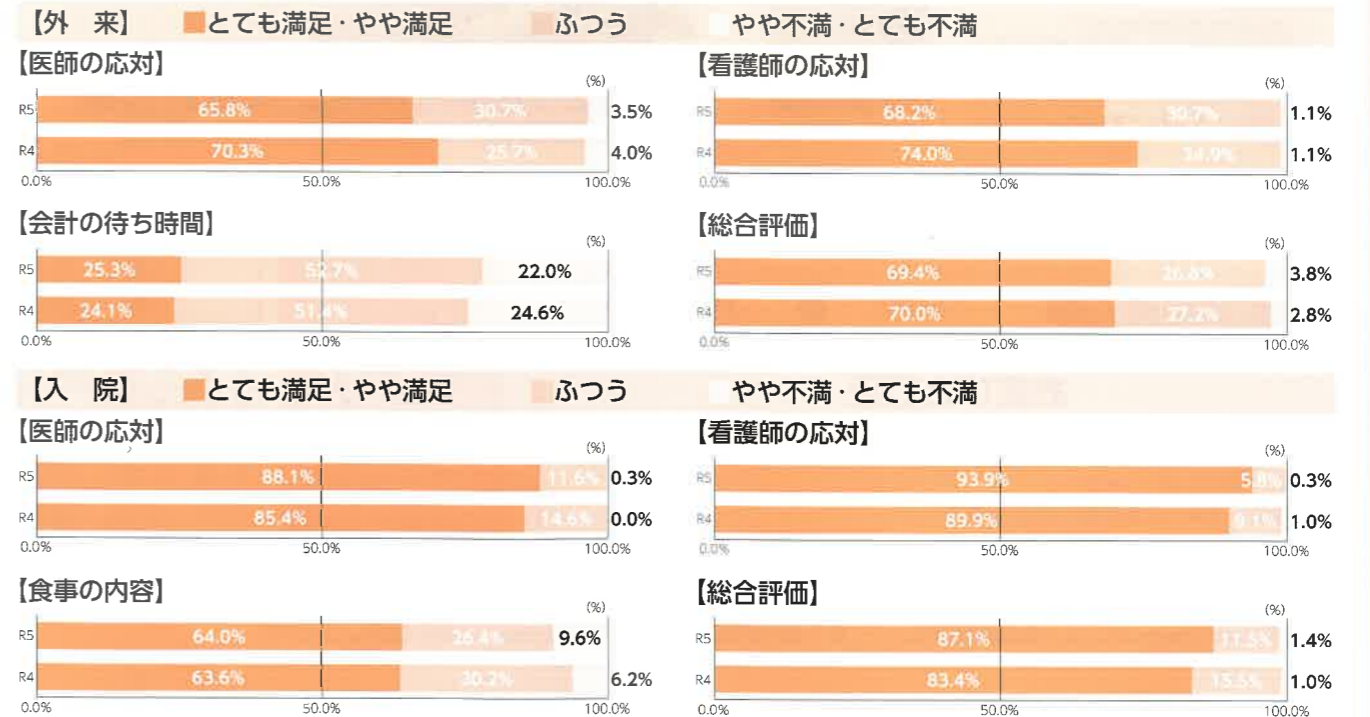
が近年指定を受け実施可能となりました。昨年、地域がん診療連携拠点病院に認定された当院でも、パネル検査実施開始に向けた準備を進めています。なお、上記のように昨今発展が目覚ましくも複雑化するがんゲノム医療に対して、専門的な知識を多く持つ病理専門医へ認定される「分子病理専門医」という資格を、昨年4月に取得いたしました。中東遠地域のがん診療を行う当院に対して、病理検査室も縁の下から支えられるように努力していきたいと存じます。



**令和5年度 患者満足度調査結果報告 (抜粋)**

外来及び入院患者さまを対象としたアンケートを実施しましたのでご報告いたします。

	調査実施日	有効回収数 (回収率)
外 来	令和5年9月11日 (月) ~15日 (金)	852件 (回収率56.8%)
入 院	令和5年9月1日 (金) ~30日 (土)	297件 (回収率73.3%)



調査結果及び皆さまからいただいた貴重なご意見等を踏まえ、引き続き患者満足度を高めつつ医療の質の向上に取り組んでまいります。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

4月・5月・6月は強化月間 年度初めに人間ドックや健診を受けましょう!

4月～6月の期間限定で、人間ドック・協会けんぽ生活習慣病予防健診のオプション検査を特別料金にて受診いただけます。

※注意：健保組合等の補助を利用した場合は従来どおりの検査料金となります。



料金改定オプション検査 (令和6年4月1日(月)～6月28日(金) 受診分)

①腫瘍マーカー検査6種類

8,800円→4,400円(税込み)

対象：40歳以上

がんの発生により血液中に増える特異的な物質を検査することで、がんの発見やその種類、進行度などの手がかりとします。

《こんな方におすすめします!》

- ★40歳以上
- ★血縁者でがんになった方がいる
- ★喫煙、飲酒習慣がある

②経膈エコー検査

4,400円→2,200円(税込み)

対象：子宮頸がん検査の申し込みをされた方

超音波を用いて子宮や卵巣をモニターに映し出し、子宮がん、卵巣がん、子宮筋腫、卵巣のう腫などの診断を行います。

《こんな方におすすめします!》

- ★20歳以上
- ★月経痛がひどい
- ★月経過多
- ★閉経後出血が時々ある

『より精度の高い大腸がん検査のために』

便潜血検査による大腸がん検査は広く有用性が確立されていますが、測定物質のヘモグロビン(Hb)の不安定さに起因する偽陰性の存在も指摘されています。便中トランスフェリン(Tf)は安定性が高く、腸内での便滞留時間が長時間の場合でも出血の痕跡をのこしている可能性があることから令和6年4月から、人間ドック検査項目に追加することになりました。(項目追加による料金の変更はございません。)

1年間を乗り切るために年度初めに身体のチェックをしましょう!

問い合わせ 人間ドック・健診センター ☎0537-28-8028 受付時間：9:00～16:00(土日祝日除く)

RECRUIT

当院では職員を募集しています



現在募集中の職種

会計年度任用職員(非常勤職員)  
メディカルエイド・医師事務作業補助者  
事務職員



▲メディカルエイド

【医師事務作業補助者(MS)とは?】  
医師が行う業務のうち、事務的な業務をサポートする職種です。医師の指示と確認のもとに、これまで医師が行っていた、電子カルテへの入力補助、検査や診察のオーダー入力補助、診断書や証明書といった文書の下書き作成などを行っています。



▲医師事務作業補助者



【採用担当者から】  
身分は地方公務員です。研修制度や福利厚生が充実しているため、長く働ける環境が整っています。医療のプロフェッショナルとして共に高みを目指す、そんな方からの応募をお待ちしています。

2025年4月採用正規職員募集  
当院リクルートサイトに募集情報を順次公開予定

医師異動のお知らせ

2月1日付 採用

麻酔科 姜 乃佳

お詫びと訂正

令和6年2月号に掲載しました内容について、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

<訂正箇所 P4 人事異動のお知らせ>

訂正前) 整形外科 浦崎哲也 → 訂正後) 整形外科 浦崎哲哉

1月の診療実績

1日あたりの患者数	
入院	412人
外来	1,203人
紹介率	83.0%
逆紹介率	109.3%
病床利用率	82%
平均在院日数	9.6日
手術件数	499件
救命救急センター受診者数	1,463人
救急搬送件数	566件

病院だより(きんもくせい)は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 [中東遠](#) [検索](#)



〒436-8555  
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1  
TEL 0537-21-5555



スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください